

2017-B

VI22B

拠出金・基金  
の名称

OSCEパートナーシップ基金

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】 欧州安全保障協力機構(OSCE)

【所管官庁担当局課・室名】 外務省欧州局政策課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

OSCEは、その目的を達成するため、安全保障、経済・環境、人権・人道という3つの幅広い分野において包括的な活動を行っており、中央アジアを中心に対話促進、国境管理、女性のエンパワーメントなどのプロジェクト等を実施し、主に信頼醸成を通じて地域の平和と安定に貢献している。日本は、OSCEを通じた拠出により、我が国単独では支援困難な分野や地域における各種プロジェクトを効果的に行うことを目的としている。

アフガニスタン及び中央アジア各国の国境管理能力向上のため、タジキスタンにある国境管理スタッフカレッジ(研修センター)において、国境管理に関する各種教育・訓練を実施。2017年の活動では、OSCE加盟国20か国、パートナー国6か国からの各種コース履行者が計348名に上った。(うち、女性参加者は約34%)

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 ( )	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	110,670	907		1ユーロ=122円	
平成28年度	120,670	881		1ユーロ= 137円	
平成27年度	110,695	791		1ユーロ= 140円	

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

1 OSCEは、冷戦終焉後、特に民主主義と法の支配の確立が地域の安全保障上不可欠であるとの考えの下、アフガニスタンや中央アジア、最近ではウクライナにおいてプロジェクトを実施し、その実績は国際社会で高く評価されている。

2 我が国として、OSCEとの協力関係を維持・強化することが、国際の平和と安定に効果的に貢献することにつながるだけでなく、国際協調主義に基づく積極的平和主義という我が国の外交・安全保障政策を実践する観点からも重要である。

3 我が国は、OSCEが活動する地域における対話促進、国境管理、女性のエンパワーメントなど幅広い分野におけるプロジェクト等への人的・財政的貢献を通じ、OSCEの広範なネットワークを介して地域情勢等に関する情報を入手することも可能となっている。

4 日本の拠出は、OSCEが実施する事業のうち拠出先を主体的に選びながらイヤマークして行っており、日本の意図を反映したプロジェクト運用がなされている。

【備考】